

後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです。

「支部長懇談会、支部長会議」報告



2017年度後援会副会長
松岡 孝幸 (翔吾 / 経済学部)

6月2日(金) 17時からボアソナード・タワー126階スカイホールにて支部長懇談会が開かれ、翌6月3日(土) 10時からは同会場にて支部長会議が開催されました。

支部長懇談会では、祖父江一仁後援会会長のあいさつと、豊田信哉校友会副会長のあいさつに続き、2017年度に周年事業を実施する6支部(青森県、沖縄県、東海、福岡県、富山県、群馬県)の各支部長が周年事業の進捗の報告などを行いました。続いて小須田博司卒業生・後援会連携室長から、本年度周年支部で実施する田中優子総長による公開文化講演会「グローバルゼーションと江戸時代」についての説明もありました。最後に、支部委員会から支部総会・父母懇談会や秋の支部キャンパス見学の受け入れ日程に関する説明があり、支部懇談会を終えました。

支部長会議では、祖父江会長のあいさつに続き、増田正人常務理事があいさつ。支



部委員会が支部活動について報告した後、志田成也事務局長から2017年度「新入生父母の集い」開催状況の報告がありました。

続いて、森田恵子副会長からは2016年度事業報告(案)と2017年度事業計画(案)、古家一郎副会長からは2016年度決算報告(案)と2017年度予算(案)についての説明がありました。さらに秋山太史副会長、古家副会長から70周年記念事業について報告があり、質疑応答では活発な意見交換がなされました。

支部長懇談会および支部長会議で提案された内容については、今後後援会本部で十分な審議の後に、その結果を改めて報告することをご理解いただきました。

今後後援会本部では、各支部との連携を深め、後援会活動の発展に貢献していきます。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

2017年度法政大学後援会総会は、6月3日(土)に市ヶ谷キャンパス外濠校舎6階「薩埵ホール」において開催されました。当日はご来賓として、一般社団法人法政大学校友会副会長の小林清宣氏、後援会クラブ会長の濱清隆氏にご臨席いただき、また全国36支部より支部長および支部役員の方々が、さらには大勢の会員、役員の方々がご出席いただきました。

祖父江一仁後援会会長の開会あいさつに始まり、小林校友会副会長、濱後援会クラブ会長からのあいさつに続き、議事に入りました。

総会の議事では2016年度事業報告、決算報告ならびに監査報告、2017年度の事業計画と予算について、2017年度役員の出が行われ、議事は慎重審議を経



2017年度後援会顧問
秋山 太史



て、すべての議案は可決・承認され、総会は無事終了しました。

そしてクライマックスは法政大学後援会設立70周年記念を迎える「禪(たすき)の引き継ぎ式」です。法政大学後援会の70年の伝統の禪が、2016年度の任期を終えた祖父江一仁会長より、2017年度から新しく着任する中和夫会長に引き継がれると、ホール内からは大きな拍手と喝采がわき起りました。

この1年間、後援会活動にご協力いただきました会員ならびに大学関係者の皆さまに感謝申し上げます。

法政大学後援会は、新しい1年に向かってスタートしました。引き続き後援会活動に、会員の皆さまのご理解とご支援を、どうぞよろしく願います。

2017年度 後援会役員

会長	中和夫
副会長	今泉拓
総務	松野千栄子 向井知子
常任幹事	神谷栄 坂元真理子 山本栄 佐藤利美 石橋久美子 福尾美貴子
2年	魚野有理 小林敬二 椎名泰 西川浩美
3年	富田二三男 坂内ひろみ 藤田千明 山田陽美
4年	亀井秀一 小島克朗 小林理恵 小松剛
幹事	伊藤典子 篠山恵 桃井千佳子 青柳彩子 霜田憲子 高野早苗 石塚知子 下石川早苗 藤田政弘 相川毅 遠藤澄江 清水伸行 西尾雅恵 吉川信宏 鶴巻義久
4年	魚谷真理子 筒井さゆり 山田京子 山田京子 梅村和代 坂井亨子 清水律子 椛田和子 小谷宏美 佐藤真理子
2年	内堀文明 高島尚子 高野律子 高野希子 岸美加子 佐々木みどり
3年	高田友江 本多邦恵 三澤潤子 磯崎恵美子 古賀ゆかり 小林淳
1年	金子裕子 朝倉賢司 伊勢和房 磯崎恵美子 古賀ゆかり 小林淳
監査	吉田勇二 柳田明彦



2017年度 法政大学後援会 運営委員

写真前列左から 松岡孝幸副会長、永田芳絵副会長、中和夫会長、松野千栄子総務、今泉拓副会長
後列左から 小澤徳総務、志田ひろみ総務、向井知子総務、樽石賢二総務、山口秀一総務、榎原蔵総務、渡辺康太総務 (左上別枠)

2017年度首都圏父母懇談会のご案内

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県在住の1～3年生のご父母の皆さまへは9月上旬に案内状を発送する予定です。4年生の父母・保証人の皆さまや一都三県以外の父母・保証人の皆さまもご参加いただけます。詳しくは9月上旬に更新予定の後援会ウェブサイト (<http://www.hosei-koenkai.org/>) をご覧ください。

- 市ヶ谷キャンパス 10月8日(日)
法学部、文学部、経営学部、国際文化学部、人間環境学部、キャリアデザイン学部、デザイン工学部、GIS (グローバル教養学部)の父母・保証人対象
- 多摩キャンパス 10月21日(土)
経済学部、社会学部、現代福祉学部、スポーツ健康学部の父母・保証人対象
- 小金井キャンパス 10月15日(日)
情報科学部、理工学部、生命科学部の父母・保証人対象

※()内は子どもの名前/学部

2017年度 主な事業

2017年度(2017年4月~2018年3月)の主な事業は以下のとおりです。

事業項目	主な事業	
1. 父母懇談会	支部	・支部総会・父母懇談会を36支部で開催[7月8日(土)~8月27日(日)]
	首都圏	・東京、神奈川、千葉、埼玉の父母を対象に3キャンパスで開催 ・市ヶ谷キャンパス[10月8日(日)] ・多摩キャンパス[10月21日(土)] ・小金井キャンパス[10月15日(日)]
2. 新入生父母の集い	支部	・各支部で実施[5月~7月]
	首都圏	・大学主催による「新入生父母説明会6月11日(日)」への協力
3. 支部における諸活動	・キャンパス見学(スポーツ応援)の実施 ・支部による学生課外活動の支援 ・支部活動の活性化に向けた議論 ・校友会との連携強化 ・支部長会議への参加	
4. 学生・大学への助成	・自然災害などにおける学生支援 ・経済的困窮学生のための支援 ・大学行事、国際交流、大学備品購入、各種講座、就職活動、体育会系クラブ、課外活動、図書購入、 広報誌「HOSEI」、全学生に配布する学生手帳作製、就職活動手帳作製、その他の助成を実施 ・大学の歴史を体系化する取り組みへの支援	
5. 広報活動	・後援会だより、後援会ウェブサイトの活用 ・『会員のための大学ガイドブック』の改善 ・スポーツや文化活動の情報発信	
6. 大学、校友会との連携強化	・後援会運営委員と総長・学内理事、副学長・学部長・常任参与・参与、校友会との懇談会の実施 ・校友会との共同企画を実施	
7. 学生(課外)活動支援	・東京六大学野球、ラグビー、アメリカンフットボール、東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)などの応援 ・文化系学生の各種発表会の支援	
8. 組織の充実	・新入生保護者への後援会活動の情報発信 ・支部役員と本部役員との交流 ・本部3キャンパス役員との交流 ・会員であること意識向上についての取り組み	
9. 後援会設立70周年記念事業	・70周年記念式典開催 ・70周年記念刊行物発行	
10. その他の具現化	・対外組織との連携 ・ダイバーシティ宣言の啓発	

2017年度 収支予算書

(2017年4月1日~2018年3月31日)

【収入の部】

(単位:円)

科目(款)	2017年度予算額
1. 一般収入	245,894,000
2. 雑収入	2,738,000
3. 積立金・引当資産からの繰入	58,996,000
4. 預り金収入	0
当年度収入合計(A)	307,628,000
前年度繰越金	40,508,000
収入合計(B)	348,136,000

【支出の部】

(単位:円)

科目(款)	2017年度予算額
1. 自然災害等被災学生のための学生支援費	20,000,000
2. 学生支援費	119,108,000
3. 会員情報費	30,679,000
4. 会員行事費	56,816,000
5. 役員活動費	11,792,000
6. 企画運営費	25,506,000
7. 人件費	11,747,000
8. 学生支援積立金	30,000,000
9. 後援会積立金	0
10. 引当資産	1,000,000
11. 未払金支払	479,000
12. 前払金	0
13. 予備費	5,000,000
14. 期末未払金	0
15. 前期末前払金支払	0
16. 預り金支払	0
当年度支出合計(C)	312,127,000
当年度収支差額(A)-(C)	△4,499,000
次年度繰越金(B)-(C)	36,009,000
支出合計(D)	348,136,000

■ 後援会ウェブサイトのご案内

<http://www.hosei-koenkai.org/>

法政大学のウェブサイトを開いていただき、オレンジ色のインデックスの「保護者の方へ」をクリックしていただいてもアクセスできます。ぜひ一度ご覧になってみてください。



■ 「携帯メール情報」の配信案内

法政大学後援会は、メールマガジンを発行しています。東京六大学野球、ラグビーや東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)などのスポーツ情報、講演会などイベント情報を提供しています。一人一人の力は小さくても、一致団結して盛り上げたいと思います。配信をご希望の方は、下記アドレスへ「メールマガジン配信希望」とお書きになり、登録するメールアドレスをお送りください。

koenkai-reg@ml.hosei.ac.jp



首都圏新入生父母説明会報告



後援会総務
志田ひろみ(将/スポーツ健康学部)

6月11日(日)13時から市ヶ谷キャンパス薩摩ホールにて、2017年度「首都圏新入生父母説明会」が行われ、新入生の多くの保護者の方々が参加されました。初めに小川浩幸常務理事から本年度の入試志願者数が首都圏にある大学内でトップとなり、合格者の入学手続き率や偏差値もアップしたとの報告を交えたあいさつを頂きました。



本年度は保護者の最も関心のある題の講演を二つと、海外留学制度についての概要説明が行われました。

大学院イノベーション・マネジメント研究科の藤村博之教授による「大学の学びが働く力を高める」と題した講演では、頭の体幹(論理的

な思考能力、変化に対応する能力、我慢強さ、難しい状況になっても挑戦し続ける力など)を大学の普段の授業や課外活動でしっかりと鍛えることが働く力を高めることに直結すると、実例を交えて分かりやすく説明していただきました。後援会のウェブサイトにも詳しい資料を掲載しているので、ぜひご覧になってください。

続いて、卒業生・後援会連携室の大山賢一課長による「大学生の就職状況」と題した講演では、ご自身がキャリアセンターに11年間勤務された豊富な経験から、学生と共に歩み続ける就職に強い法政大学と言われる結果を出したキャリアセンターの試みが紹介され、学生が安心して就職活動をするには「親御さんは心配だろうがどうか温かく見守ってほしい」との願いで締めくくられました。

その後、後援会の榊原蔵総務より、後援会活動である秋の3キャンパス首都圏父母懇談会やスポーツ応援の参加への協力をお願いする呼び掛けがあり、最後は大学から海外留学制度の概要が説明されて、閉会となりました。

6月4日(日)11時から、新潟市万代シルバーホテル5階昭和の間にて、2017年度「新入生父母の集い」を開催しました。新入生父母は30人、さらに研究開発センター市ヶ谷事務課の伊藤昌子課長と24人の支部役員を合わせて、合計55人の方々にご出席いただきました。



新潟県支部支部長
本名浩史(梨琳/人間環境学部)

親近感を持っていただくために、各テーブルに同じキャンパスまたは学部の新入生父母と役員とが同席するように配置しました。最初は緊張気味でしたが、ゆったりと食事を取りながら、出身高校の話やサークル活動の話をするうちに盛り上がりました。入学式の素晴らしい様子の思い出やそれぞれのキャンパスの様子、買い物や自炊のコツなど一人暮らしに関する話題、留学やインターシップの経験なども語り合い、充実した情報交換ができたと思います。あつという間の3時間でした。会を通じて、新入生父母の方々、役員ともに親睦が深まったと思います。



新潟県支部 新入生父母の集い開催報告